

歯科疾患の全身への影響

〜人生100年時代を踏まえて〜

◆**歯周病と全身疾患**
数十年前から歯科疾患、特に歯周病と全身疾患に
関連がある事が指摘され
てきました。歯周病菌や
その産生する炎症性物質
が体内に侵入し様々な臓
器に影響を及ぼします。
そのため特に症状がな
く

産、早産、敗血症、菌血
症など、歯周病菌が血管
を介し心臓や脳など全身
に運ばれます。これに反
応し血管内で慢性的に過
剰な生体防御反応が起こ
り、血管そのものや身体
機能に悪影響を及ぼしま
す。

や唾液が嚥下時に誤って
気管に入り口腔内細菌が
肺内で増殖し炎症を引き
起こします。特に高齢者
など嚥下機能や抵抗力、
免疫力が低下している人
にみられます。

④アルツハイマー性認
知症、歯周病菌のひとつ
のPg菌が脳内に侵入し炎
症を引き起こすことでア
ミロイドβ（アルツハイ
マー性認知症の原因物
質）が脳内で産生されま
す。アミロイドβが引き
起

知症、歯周病菌のひとつ
のPg菌が脳内に侵入し炎
症を引き起こすことでア
ミロイドβ（アルツハイ
マー性認知症の原因物
質）が脳内で産生されま
す。アミロイドβが引き
起

近々先進国では日本だ
けが3倍に増加していま
す。男性だけでなく女性
や若年者も増加していま
す。喫煙との関連も推測
されます。
詳しくはかかりつけの
歯科医院にお尋ねくださ
い。

（鶴岡地区歯科医師会）

ても、定期的に歯科医院
を受診することが大切で
す。55歳〜74歳を対象と
した調査では、「人生を
振り返り後悔している事」
の第1位が「歯の定期検
診を受けていけばよかつ
た」というものでした。

②糖尿病〜進行した歯
周病により炎症性サイト
カイン(TNF-αなど)
が過剰に産生され血液を
介し全身に広がります。
TNF-αはインスリン
の働きを阻害し血糖値が
下がらず糖尿病は悪化し
ます。逆に歯周病は糖尿
病の合併症と考えられ、
糖尿病によっても歯周病
が悪化します。

①動脈硬化、狭心症、
心筋梗塞、細菌性心内膜
炎、脳梗塞、低体重児出
産、誤嚥性肺炎、食べ物

③誤嚥性肺炎〜食べ物

歯と口の健康週間

(6月4〜10日)

歯の定期検診を
受ければよかった

55〜74歳
後悔
第1位
283pt

第2位	スポーツなどで体を鍛えればよかった	244pt
第3位	日頃からよく歩けばよかった	234pt
第4位	腹八分目を守り、暴飲暴食をしなればよかった	210pt
第5位	間食を控えればよかった	167pt
第6位	頭髪の手入れをすればよかった	150pt
第7位	たばこをやめればよかった	122pt

出典:gooリサーチとプレジデント編集部共同調査により、「人生の振り返り」に関するアンケート 2012.9.25〜27 55〜74歳の男女1060名の回答より